



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹

TEL 0466-45-2100

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,423	5.1	326	61.7	339	57.3	229	91.7
2019年3月期第3四半期	5,159	△2.1	201	102.9	215	97.5	119	77.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	16.19	16.13
2019年3月期第3四半期	8.45	8.42

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	11,091	8,093	73.0	568.34
2019年3月期	11,141	7,868	70.5	553.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 8,091百万円 2019年3月期 7,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	2.00	-	2.00	4.00
2020年3月期	-	2.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 1円00銭

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	2.8	520	12.8	520	9.7	360	13.5	25.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	14,280,000株	2019年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	43,160株	2019年3月期	90,360株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	14,194,300株	2019年3月期3Q	14,189,825株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロール及びジャッキは減少しましたが、その他増減速機の受注は増加いたしました。歯車につきましては、その他産業機械用が減少したことにより受注は減少いたしました。これにより、歯車及び歯車装置事業の受注は減少いたしました。工事業では火力発電所、上下水道向けが減少したことにより受注は減少いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間の受注高は60億81百万円（前年同期比4.2%減）、売上高は54億23百万円（前年同期比5.1%増）となりました。一方、当第3四半期会計期間末の受注残高は44億21百万円（前事業年度末比17.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加に伴い、売上原価が38億9百万円（前年同期比3.7%増）、販売費及び一般管理費は12億87百万円（前年同期比0.4%増）となりました。これにより、営業利益は3億26百万円（前年同期比61.7%増）、経常利益3億39百万円（前年同期比57.3%増）、四半期純利益は2億29百万円（前年同期比91.7%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・コントロールの受注高は、原子力発電所向けの特重大事故等対処設備向け装置、石油ガス向けの補修及び改造部品が増加したものの、火力発電所向けが減少したことにより、前年同期比1.8%の減少となりました。売上高は、火力発電所向けが減少したものの、原子力発電所向けの特重大事故等対処設備向け装置、上下水道向けの大型緊急遮断ゲートの設備、石油ガス向け補修及び改造部品等が増加したことにより、前年同期比15.5%増加いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は半導体・液晶製造装置向けの設備投資、鉄鋼向けの保守需要が減少したことにより、前年同期比21.1%減少いたしました。売上高は工作機械、その他一般向けが増加しましたが、半導体・液晶製造装置、鉄道船舶、自動車、紙バルブ向けが減少したため前年同期比3.7%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は火力発電所向けのターニング装置用減速機、ガラスメカ向けの設備投資による攪拌機等が増加したことにより、前年同期比23.0%増加いたしました。売上高は石油ガス向けの増減速機、火力発電所向け排煙脱硫装置用攪拌機及びターニング装置用増減速機の更新案件が増加したことにより、前年同期比62.6%増加いたしました。歯車の受注高は、鉄道船舶用傘歯車が増加したものの、コンプレッサー用円筒歯車が減少したことにより、前年同期比33.3%減少いたしました。売上高は、自動車用が増加したものの、鉄道船舶用傘歯車や建設機械用歯車が減少したため、前年同期比15.5%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比4.5%減少し、売上高は前年同月比14.1%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は原子力発電所向け特重大事故等対処設備に紐づく工事受注と石油ガス向けシステム工事が増加したものの、火力発電所向けの点検サイクル延長、上下水道向けの施設更新による点検見直し等により前年同期比3.0%減少いたしました。売上高は、火力発電所、石油ガス、化学、鉄鋼向けが減少したことにより、前年同期比19.4%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ26百万円増加し80億56百万円となりました。これは主に売上債権が6億79百万円減少いたしました。たな卸資産が6億50百万円、現金及び預金が46百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ77百万円減少し30億34百万円となりました。これは主に前払年金費用が77百万円増加いたしました。有形固定資産が1億23百万円、無形固定資産が38百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ3億39百万円減少し21億22百万円となりました。これは主に未払消費税等が45百万円増加いたしました。賞与引当金が1億17百万円、未払法人税等が1億5百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ64百万円増加し8億75百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億24百万円増加し80億93百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億73百万円、その他有価証券評価差額金が48百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,614,405	2,661,221
受取手形及び売掛金	3,210,453	2,531,400
商品及び製品	100,602	183,311
仕掛品	665,207	899,691
原材料及び貯蔵品	1,342,262	1,675,075
その他	96,579	105,715
流動資産合計	8,029,511	8,056,415
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	886,218	762,278
有形固定資産合計	1,899,509	1,775,570
無形固定資産		
	221,898	182,946
投資その他の資産		
投資有価証券	526,039	548,585
前払年金費用	391,093	468,897
その他	78,445	63,834
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	990,379	1,076,117
固定資産合計	3,111,787	3,034,634
資産合計	11,141,298	11,091,049
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,468,547	1,347,102
1年内返済予定の長期借入金	222,284	180,016
未払法人税等	158,377	53,318
賞与引当金	228,296	110,643
環境対策引当金	3,170	-
株主優待引当金	14,968	-
その他	365,933	431,080
流動負債合計	2,461,578	2,122,161
固定負債		
長期借入金	605,369	678,825
退職給付引当金	5,808	4,117
資産除去債務	170,297	170,421
その他	29,643	21,956
固定負債合計	811,118	875,319
負債合計	3,272,697	2,997,481

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	844,822
利益剰余金	5,525,579	5,698,637
自己株式	△33,239	△15,890
株主資本合計	7,729,488	7,916,369
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	125,987	174,944
評価・換算差額等合計	125,987	174,944
新株予約権	13,125	2,254
純資産合計	7,868,601	8,093,567
負債純資産合計	11,141,298	11,091,049

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,159,007	5,423,343
売上原価	3,671,805	3,809,154
売上総利益	1,487,202	1,614,189
販売費及び一般管理費	1,285,210	1,287,535
営業利益	201,992	326,654
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	12,699	15,515
受取保険金	1,616	5,224
その他	10,481	3,607
営業外収益合計	24,805	24,354
営業外費用		
支払利息	8,787	8,098
その他	2,244	3,488
営業外費用合計	11,032	11,587
経常利益	215,766	339,422
特別利益		
固定資産売却益	3,539	—
受取和解金	—	18,400
その他	—	561
特別利益合計	3,539	18,961
税引前四半期純利益	219,306	358,383
法人税等	99,410	128,567
四半期純利益	119,895	229,815

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	3,774,703	1,384,304	5,159,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,774,703	1,384,304	5,159,007
セグメント利益又は損失(△)	△6,348	208,340	201,992

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	4,307,757	1,115,586	5,423,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,307,757	1,115,586	5,423,343
セグメント利益	286,804	39,849	326,654

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。